

平成24年度 発達障がい者支援に関する実態調査(調査票)

資料1-2

※記入欄が不足する場合は、恐れ入りますが適宜行の追加等を行いご対応いただきますようお願いいたします。

■ 基本情報

機関(教室)名	
記入者(役職・氏名)	
連絡先(電話)	

問1 貴機関(教室)におけるグループ数(種別)及びその実利用者数についてご記入ください。

※うみのこセンター、幼児言語教室用

No.	グループ名称	グループ種別	利用者数(実利用者)【単位:人】			
			H21	H22	H23	H24 (2月1日時点)
例	あおい	未入園	10	13	15	20
合計			10	13	15	20

※いこいの家(親子教室、単独通園)用

No.	グループ名称	グループ種別	利用者数(実利用者)【単位:人】				
			年度 年齢	H21	H22	H23	H24 (2月1日時点)
例	あおい	未歩行	0~1歳	0	0	0	0
			1~2歳	4	5	6	6
			2~3歳	6	7	7	8
			3~4歳	7	7	8	8
			4~5歳	3	3	3	3
			5歳以上	2	2	3	3
			計	22	24	27	28

問2 「問1」のグループについて、①1月あたりの教室開催回数(回/月)、②1回あたりの平均利用人数(人/回)を教えてください。

※うみのこセンター、幼児言語教室用

① 開催回数 単位:回

グループNo.	H21	H22	H23	H24 (2月1日現在)
例	1	2	2	2

② 平均利用人数 単位:人

グループNo.	H21	H22	H23	H24 (2月1日現在)
例	9	10	12	15

※いこいの家(親子教室、単独通園)用

① 開催回数 単位:回

グループNo.	H21	H22	H23	H24 (2月1日現在)
例	1	2	2	2

② 平均利用人数 単位:人

グループNo.	H21	H22	H23	H24 (2月1日現在)
例	20	22	25	26

問3 現在の利用者(H24年2月1日現在)の主訴について、該当する区分番号を選択し、多い順に3番目までお答えください。

区分番号	内容
1 運動・発達に関するもの	運動の遅れ
	発達の遅れ
2 言葉に関するもの	言葉の遅れ
	言葉の吃音
	言葉が正しく発音できない
3 行動に関するもの	落ち着きがない
	かんしゃくが強い
	こだわりが強い
	友達と遊べない
	友達に乱暴する
	集団参加が困難
	気持ちの切り替えが下手
4 その他	その他()
	その他()
	その他()

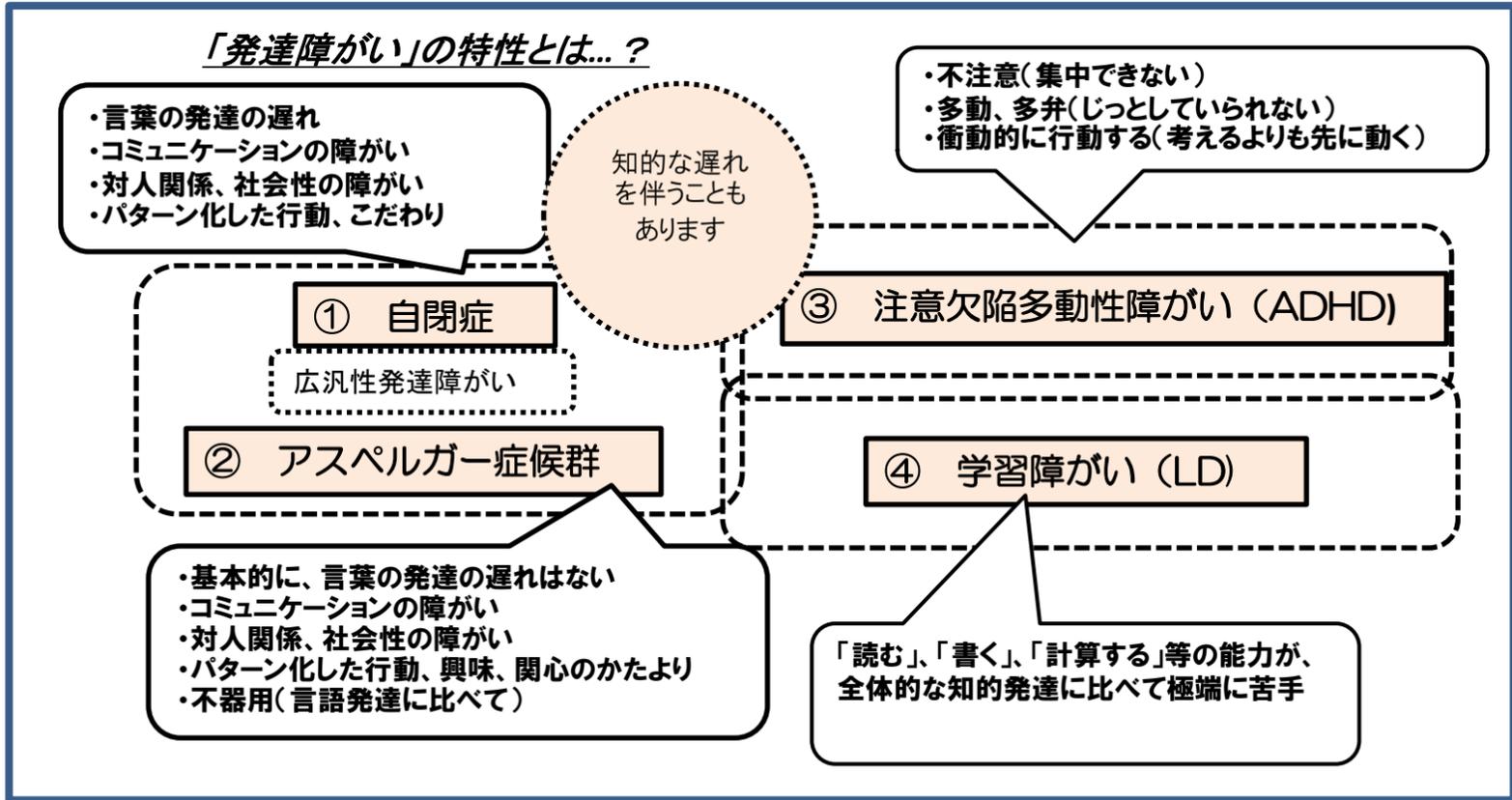
回答	1番目
	2番目
	3番目

問4 貴機関(教室)の利用者について、どのような経緯で利用に至っていますか？以下から選択し、該当する番号を、多い順に3番目までお答えください。また、該当がない場合は、経緯について「その他欄」へ記載してください。

No.	項目
1	保健福祉センター(健診→あそびの教室) → 保育園・幼稚園 → 貴教室
2	保健福祉センター(健診→あそびの教室) → 療育機関(いこいの家・うみのこセンター) → 貴教室
3	保健福祉センター(健診→あそびの教室) → 貴教室
4	保健福祉センター(健診)あそびの教室は通わず → 保育園・幼稚園 → 貴教室
5	保健福祉センター(健診)あそびの教室は通わず → 療育機関(いこいの家・うみのこセンター) → 貴教室
6	(あそびの教室参加有無は不明)保育園・幼稚園 → 貴教室
7	医療機関から紹介 → 貴教室
8	発達障害者支援センターきらりから紹介 → 貴教室
9	行政機関(児童相談所、保育児童課など)から紹介 → 貴施設
10	その他機関(機関名:) → 貴教室
11	① その他()
	② その他()
	③ その他()

回答	1番目	
	2番目	
	3番目	

■ 「発達障がい」に関する調査



問5 平成24年度利用者(平成25年2月1日現在)のうち、上記図①～④記載の「発達障がい」の特性があると思われる児童数、「知的の遅れ」有無、年齢内訳をご記入ください。なお、医師により「発達障がい」の診断(自閉症など)がされている児童がいる場合はその人数、診断名、年齢内訳をご記入ください。(把握している範囲での記載で結構です。)

(1)人数について

区分	左記のうち、知的の遅れ有無について		
	ある	どちらとも言えない	ない
①「発達障がい」の特性があると思われる児童	人	人	人
②「発達障がい」と診断されている児童	人	人	人
合計	0	人	人

※診断の内訳

診断名 (例)自閉症・アスペルガー症候群	人数	左記のうち、知的の遅れ有無について		
		ある	どちらとも言えない	ない
	人	人	人	人
	人	人	人	人
	人	人	人	人
	人	人	人	人

(2)年齢内訳

区分	年齢内訳						合計
	0～1歳	1～2歳	2～3歳	3～4歳	4～5歳	5歳以上	
①「発達障がい」の特性があると思われる児童							0 = (A)と同数
②「発達障がい」と診断されている児童							0 = (B)と同数

単位: 人

問6 現在の利用者(平成24年2月1日現在)について、自らの機関を除いた他機関の利用状況を、保育園・幼稚園へ入園している児童と、入園していない児童とに分けてご記入ください。
また、そのうち※発達障がい児等(「問5」の(C)の利用者)の内訳を教えてください。

(※「発達障がい児等」とは、問5における「発達障がいの特性があると思われる児童」及び「発達障がいと診断されている児童」のことを指します。)

(例) 保育園に通いながら当該機関を利用している児童の場合 → 区分:「保育園・幼稚園へ入園している児童」の「No.7 他の利用機関は無し」欄へ人数を記入。

(例) 保育園・幼稚園へ入園しておらず、当該機関以外にも利用している機関がない児童の場合 → 区分:「保育園・幼稚園へ入園していない児童」の「No.7 他の利用機関は無し」欄へ人数を記入。

(1) 全体数

単位:人

No.	区分 利用している機関	保育園・幼稚園へ 入園している児童	保育園・幼稚園へ 入園していない児童	合計
		1	幼児言語教室	
2	いこいの家(親子教室)			0
3	いこいの家(単独通園)			0
4	清水うみのこセンター			0
5	医療機関(PT・OT・ST)※			0
6	その他()			0
7	他の利用機関は無し			0
	合計	0	0	0

※
①PT(理学療法)
②OT(作業療法)
③ST(言語聴覚療法)

(2) 上記のうち、発達障がい児等の内訳

単位:人

No.	区分 利用している機関	保育園・幼稚園へ 入園している児童	保育園・幼稚園へ 入園していない児童	合計
		1	幼児言語教室	
2	いこいの家(親子教室)			0
3	いこいの家(単独通園)			0
4	清水うみのこセンター			0
5	医療機関(PT・OT・ST)※			0
6	その他()			0
7	他の利用機関は無し			0
	合計	0	0	0

問7 貴機関(教室)における、「発達障がい」に関する情報収集方法について、当てはまる項目の番号に○をつけてください。(複数回答可)

- 1 研修・講演会等への参加により収集
- 2 医療機関・行政機関・療育機関等から収集
- 3 発達障害者支援センター「きらり」からの指導、助言により収集
- 4 その他()
- 5 収集していない

■ 支援方法について

問8 貴機関(教室)における「発達障がい児等」に対する支援について、特に有効・効果があると思われる支援方法や工夫されている支援方法を、障がいの特性ごとにご記入ください。

(例)トークン(ほめ)表を作成する、手順書・スケジュール表などを作成し、絵や図でわかりやすく示す(視覚的支援) など。

種別	有効・効果がある支援方法
自閉症	
アスペルガー症候群	
注意欠陥多動性障がい(ADHD)	
学習障がい(LD)□	
その他()	

問9 他機関との連携状況についてお伺いします。支援を行う上で連携している機関はありますか？該当する番号に○をつけてください。

(※ここで言う「連携」とは、他機関等の紹介及び情報提供、他機関等からの情報収集、職員派遣など、複数機関で支援を行っている状況を指します。)

- 1 ある …「問10」へ
- 2 ない …「問11」へ

問10 具体的な連携機関及び連携内容についてご記入ください。「2 行政機関」の場合は、該当部署に○をつけてください。(複数回答可) ※回答後は、「問12」へお進みください。

No.	機関名	連携の内容
1	保育園・幼稚園	
2	医療機関	
3	行政機関【児童相談所、保育児童課(家庭児童相談室)、子ども青少年相談センター、福祉事務所生活支援課、その他()】	
4	保健福祉センター	
5	いこいの家	
6	清水うみのこセンター	
7	発達障害者支援センター「きらり」	
8	その他()	
	その他()	
	その他()	

問11 連携していない理由として最も多いものは何ですか？該当する番号に○をつけてください。

- 1 連携先(相談先)がわからない
- 2 連携方法がわからない
- 3 連携するには保護者の同意が必要であるが、同意が得られない
- 4 連携する必要がない
- 5 その他()

問12 発達障がい児等への支援に際して、今後他機関とどのような連携が必要だと感じますか？

(例) 関係機関によるネットワーク会議、ケース会議等を開催

(例) 情報支援ツール「すくすくファイル」等を活用し、支援が必要な子の情報を次の機関へ確実に情報提供する

問13 進路先への支援の引き継ぎについてはどのように行っていますか？該当する番号へ○をつけてください。

- 1 貴(機関)教室が、申送書等の特別な支援計画を提供する
- 2 保護者に、作成した「子どもの発達と成長の記録(すくすくファイル等)」を進路先へ提供するよう促す
- 3 進路先の機関(園、学校等)の職員と会議等で情報提供を行う
- 4 その他()
- 5 引き継ぎは行わない

問14 未就学の「発達障がい児等」の受け皿として適していると思う機関・施設について、該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- 1 療育機関(いこいの家・うみのこセンター)
- 2 幼児言語教室
- 3 公立保育園
- 4 私立保育園
- 5 公立幼稚園
- 6 私立幼稚園
- 7 児童発達支援事業所(旧児童デイサービス事業所)
- 8 その他()

■ 個別支援計画(サポートプラン)について

問15 貴機関(教室)にて、「個別支援計画(サポートプラン)」は作成していますか？(「個別支援計画」や「サポートプラン」という名称でなくても、子どもの発達を促すための目標や方法等を作成している場合も含めてご回答ください。)

- 1 作成している …「問16」へ
- 2 作成していない …「問18」へ

問16 平成24年度利用者(平成25年2月1日現在)のうち、個別支援計画(サポートプラン)を作成している発達障がい児等(「問5」の(C))の内訳を記入してください。(20名を超える場合は別紙へご記入ください。)

No.	性別	年齢	障がい種別	備考
例	男	3歳	自閉症	※未診断の場合、「不明」、「広汎性発達障がい傾向」などと記入してください。
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

問17 上記の「個別支援計画(サポートプラン)」について、使用している様式及びその人数を教えてください。

No.	使用様式	人数(人)
1	貴機関(教室)独自の様式を使用	
2	「すくすくファイル」の様式(サポートファイル)を使用	
3	その他()	
合 計		0

問18 平成23年度の利用者(「問1」H23実利用者)のうち、貴機関(教室)利用後の進路及び進路先へ申込書等の特別な支援計画を提供した人数について、ご記入ください。また、そのうち発達障がい児等(「問5」の(C)の利用者)の内訳についてお答えください。
 ※「進路先」には、年度途中で他機関(療育機関等)へ移行された場合も含めてください。
 ※自らの機関(教室)は除いてください。

(1)平成23年度利用者の進路先(全体内訳)

単位:人

No.	進路先	人数	左記のうち、提供者数
1	保育園・幼稚園		
2	公立小学校(通常学級)		
3	公立小学校(通級指導教室)		
4	公立小学校(特別支援学級)		
5	私立小学校		
6	特別支援学校		
7	いこいの家(親子教室)		
8	いこいの家(単独通園)		
9	清水うみのこセンター		
10	幼児言語教室		
11	その他()		
12	その他()		
合計		0	0

(2)上記のうち、発達障がい児等の内訳(「問5」(C)の内訳)

単位:人

No.	進路先	人数(人)			
		①特性がある児	左記のうち、提供者	②診断がある児	左記のうち、提供者
1	保育園・幼稚園				
2	公立小学校(通常学級)				
3	公立小学校(通級指導教室)				
4	公立小学校(特別支援学級)				
5	私立小学校				
6	特別支援学校				
7	いこいの家(親子教室)				
8	いこいの家(単独通園)				
9	清水うみのこセンター				
10	幼児言語教室				
11	その他()				
12	その他()				
合計		0	0	0	0

問19 申込書等の特別な支援計画を提供していない児童については、その理由として多いものを、多い順に3番目までお答えください。

- 1 保護者から申し出があった場合のみ申込書を作成しているため(機関(教室)側からは特に提案していない)
- 2 機関(教室)から保護者へ申込書の提供を進めているが、提供に際して同意が得られないため
- 3 個別支援計画自体を作成していないため
- 4 提供する必要がない児童のため
- 5 その他()

回答	1番目	
	2番目	
	3番目	

■ 相談支援ファイル「すくすくファイル」について

問20 貴機関(教室)において、「すくすくファイル」を活用していますか？該当する番号に○をつけてください。

- 1 活用している …「問21」へ
- 2 活用していない …「問23」へ

問21 活用方法について、該当する番号に○をつけてください。

- 1 「すくすくファイル」を作成してある利用者については、その内容を確認しながら支援にあたっている
- 2 「すくすくファイル」の様式(サポートファイル)を利用して個別支援計画を作成している
- 3 その他()

問22 活用したメリット(すくすくファイル活用による効果等)がありましたら、自由に記載ください。

■ その他

問23 現在、貴機関(教室)に待機児童はいますか？(平成25年2月1日時点)

- 1 待機児童あり → 待機児童数は 人 …「問25」へ
- 2 待機児童なし …「問24」へ

問24 現在の、貴機関(教室)の空き状況について、今以上の受け入れが可能であれば、その人数をお答えください。

 人

問25 待機児童以外で、これまでに貴機関(教室)の利用をお断りしたケースがあれば、その理由を教えてください。(複数回答可)

- 1 当機関(教室)よりも他機関が適当と判断したため
- 2 対象とする年齢外であったため
- 3 市外、県外の居住者であったため
- 4 その他()

問26 貴機関(教室)の従事職員についてご記入ください。

身分(常勤/非常勤)	職種	人数
		人
		人
		人
		人
		人
		人
		人
		人
		人
		人
		人
		人
		人

問27 貴機関(教室)における現在の人員体制(人員配置)は十分だと思いますか？該当する番号に○をつけてください。

- 1 十分である …「問29」へ
- 2 十分ではない …「問28」へ

問28 十分ではない理由について、該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- 1 利用者数が増加しているため …「問30」へ
- 2 1対1の対応を要するなど、手厚い支援が必要な児童の割合が多いため …「問30」へ
- 3 専門的資格のある職員が足りないため …「問29」へ
- 4 その他() …「問30」へ

問29 どのような資格者が必要ですか？またその理由について教えてください。

資格(職種)	
理由	

問30 学校以外の場で幼児言語教室を行う場合、こういった場所が適していると思いますか？該当する機関の番号に○を付け、その理由についてご記入ください。(複数回答可)

No.	機関名	理由
1	子育て支援センター	
2	児童館	
3	療育機関(いこいの家・うみのこセンター)	
4	保健福祉センター	
5	生涯学習交流館・生涯学習交流センター	
6	市役所の庁舎内	
7	その他()	
8	その他()	

問31 貴機関(教室)の運営に際して、対応に苦慮している事項、また課題と感じている事項等についてご記入ください。

--

問32 発達障がい者支援施策に関して、ご意見、ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

--

～ご協力いただきありがとうございました。～

【問16の別紙】

No.	性別	年齢	障がい種別	備考
例	男	3歳	自閉症	※未診断の場合、「不明」、「広汎性発達障がい傾向」などと記入してください。
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
61				
62				
63				
64				
65				
66				
67				
68				
69				
70				

71				
72				
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				
81				
82				
83				
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				
98				
99				
100				
101				
102				
103				
104				
105				
106				
107				
108				
109				
110				
111				
112				
113				
114				
115				
116				
117				
118				
119				
120				
121				
122				
123				
124				
125				

■ 相談支援に関する調査

問1 貴機関(教室)では、保護者に対する相談支援(来所相談)を実施していますか。

- 1 実施している …「問2」へ
2 実施していない …「問5」へ

問2 来所相談の実績(延件数)をご記入ください。【単位:件】

年度	H21	H22	H23	H24 (2月1日時点)
件数				

問3 相談内容で多いものを下記から選択し、多い順に3番目までお答えください。

回答	1番目	
	2番目	
	3番目	

【 選択欄 】	
1	保護者の精神的不安に関するもの(障がいに対する不安、育児ストレスなど)
2	子どもの発達に関するもの(運動発達やことばの遅れについてなど)
3	家庭生活に関するもの(家庭療育、子どもへの接し方など)
4	医療に関するもの(医療機関の受診、薬物治療など)
5	今後の進路に関するもの(就園、就学についてなど)
6	療育支援に関するもの(療育施設での療育内容・方法など)
7	その他()
8	その他()

問4 相談に対する支援の方法について、該当するものを多い順に3番目までお答えください。

- 1 関係機関や施設の紹介や情報提供
2 医療機関の受診を促す
3 子育てに関する助言
4 個別支援計画(サポートプラン)の作成(補助)
5 その他()

回答	1番目	
	2番目	
	3番目	

問5 貴機関(教室)では、相談支援(巡回相談)を実施していますか。

- 1 実施している …「問6」へ
2 実施していない …質問は以上で終了です。

問6 巡回先機関として多いものを3番目までお答えください。

- 1 保育園
2 幼稚園
3 対象児の自宅
4 保健福祉センター
5 医療機関
6 療育機関(いこいの家・うみのこセンター)
8 その他()

回答	1番目	
	2番目	
	3番目	

問7 巡回相談の実績(延件数)をご記入ください。【単位:件】

年度	H21	H22	H23	H24 (2月1日時点)
件数				

問8 相談内容で多いものを下記から選択し、多い順に3番目までお答えください。

回答	1番目	
	2番目	
	3番目	

【 選択欄 】	
1	保護者の精神的不安に関するもの(障がいに対する不安、育児ストレスなど)
2	子どもの発達に関するもの(運動発達やことばの遅れについてなど)
3	家庭生活に関するもの(家庭療育、子どもへの接し方など)
4	医療に関するもの(医療機関の受診、薬物治療など)
5	今後の進路に関するもの(就園、就学についてなど)
6	療育支援に関するもの(療育施設での療育内容・方法など)
7	その他()
8	その他()

問9 相談に対する支援の方法について、該当するものを多い順に3番目までお答えください。

- 1 関係機関や施設の紹介や情報提供
- 2 医療機関の受診を促す
- 3 子育てに関する助言
- 4 個別支援計画(サポートプラン)の作成(補助)
- 5 その他()

回答	1番目	
	2番目	
	3番目	

～ご協力いただきありがとうございました。～